

🎃 平成26年10月 🎃

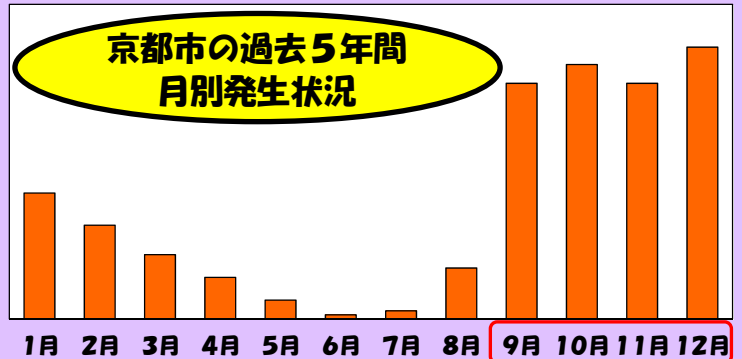
# 京都市こどもの感染症



## RSウイルス感染症 に注意しましょう！！

RSウイルス感染症は乳幼児を中心に、例年、秋から冬にかけて流行します。

過去5年間の月別発生状況を見ると、京都市では9月～12月にかけて流行しています。正しい知識をしっかりと持ち、以下の点に注意し、予防しましょう！！



### どんな病気かな？

- ★ ウイルスによる呼吸器の感染症です。
- ★ 症状は、発熱・鼻水・せきなどです。
- ★ 2歳以下では、度々、細気管支炎や肺炎を発病します。特に、生後3ヶ月以内の乳児がかからないように気をつけましょう！
- ★ 低出生体重児や基礎疾患のあるお子さんは、より重症化のリスクが高いといわれています。



### 感染経路・予防方法は？

- ① せきやくしゃみのしぶき(ウイルスを含む。)を吸い込むことによって感染  
➡ 日常的にお子さんに接する方で、せきなどの呼吸器症状がある場合、マスクを着用しましょう！
- ② ウイルスがついている手指や物を触ったり、なめたりすることによって感染  
➡ お子さんが日常的に触れるおもちゃなどはこまめにアルコール等で消毒し、手洗いしましょう！



◆「京都市こどもの感染症」に関するお問合せ先

○お近くの保健センター

○京都市保健福祉局 保健医療課 (TEL:075-222-4421 FAX:075-222-3416)

○京都市衛生環境研究所 管理課 (TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232)

京都市印刷物 第 262173 号

平成26年10月 発行

京都市衛生環境研究所



\* 衛生環境研究所のホームページからも御覧になれます \*